



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場会社名 日本精機株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7287 URL <http://www.nippon-seiki.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永井 正二  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部経理部 (氏名) 渡辺 桂三 (TEL) 0258(24)3311  
 シニアマネジャー  
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日 配当支払開始予定日 平成23年12月9日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	81,242	△0.4	6,837	0.7	1,865	△20.1	451	333.8
23年3月期第2四半期	81,606	40.5	6,790	734.2	2,335	—	103	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △1,320百万円(—%) 23年3月期第2四半期 △1,347百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	7 87	7 87
23年3月期第2四半期	1 81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	193,114	90,284	43.9
23年3月期	191,561	92,187	45.4

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 84,866百万円 23年3月期 86,952百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	7 00	—	7 00	14 00
24年3月期	—	7 00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7 00	14 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	169,000	1.0	10,500	△28.3	11,000	4.9	6,000	△0.2	104 73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

#### (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	60,907,599株	23年3月期	60,907,599株
24年3月期2Q	3,618,241株	23年3月期	3,616,627株
24年3月期2Q	57,290,370株	23年3月期2Q	57,302,416株

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・当社は、平成23年11月17日に証券アナリスト及び機関投資家向けの四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	12
(5) セグメント情報等 .....	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新興国の成長が牽引するかたちで緩やかな回復基調にあるものの、米国経済の先行き懸念、欧州の金融システム不安、アジア経済のインフレ圧力の高まりなど、依然として予断を許さない状況が続いております。日本経済は、東日本大震災の影響から、多くの企業でサプライチェーンが寸断され、生産活動が滞り、厳しい状況で推移しました。その後当初想定を上回るペースで生産体制の復旧・回復が進んでおりますが、長期化する円高など、先行きは不透明な状況であります。

このような事業環境においても、当社グループでは、連結企業体としてグローバルでの競争に勝ち残り、継続的に成長できる収益体質を実現すべく、品質第一に徹し、競争に負けない「もの造り総合力」（コスト・技術・物流・サービス）の強化を推進してまいりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、81,242百万円（前年同期比0.4%減）、営業利益は、6,837百万円（前年同期比0.7%増）、経常利益は、1,865百万円（前年同期比20.1%減）、四半期純利益は、451百万円（前年同期比333.8%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

自動車及び汎用計器事業は、二輪車用計器が米州等で増加、汎用計器も増加したものの、四輪車用計器が日本、米州、アジアで減少し、売上高は59,853百万円（前年同期比1.9%減）、営業利益は5,966百万円（前年同期比4.7%減）となりました。

民生機器事業は、OA・情報機器操作パネル等が減少し、売上高は6,219百万円（前年同期比14.5%減）となりましたが、営業利益は266百万円（前年同期比1,665.8%増）となりました。

ディスプレイ事業は、液晶ディスプレイ等が減少し、売上高は1,737百万円（前年同期比25.4%減）、営業損失は224百万円（前年同期は148百万円の営業損失）となりました。

その他は、樹脂材料の加工・販売、自動車販売等が増加し、売上高は13,432百万円（前年同期比22.4%増）、営業利益は720百万円（前年同期比1.7%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度に比べ1,553百万円増加し、193,114百万円となりました。これは固定資産が1,450百万円減少しましたが、流動資産でたな卸資産が1,695百万円、現金及び預金が575百万円増加したこと等によります。

負債は、前連結会計年度に比べ3,455百万円増加し、102,829百万円となりました。これは流動負債で支払手形及び買掛金が1,925百万円、未払法人税等が797百万円減少しましたが、短期借入金が増加したこと等によります。

純資産は、その他の包括利益累計額が2,174百万円減少したこと等により前連結会計年度に比べ1,902百万円減少し、90,284百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末におけるキャッシュ・フローの状況は、現金及び現金同等物が前連結会計年度末に比べ608百万円増加し、70,990百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産の増加等がありました。税金等調整前四半期純利益1,672百万円の計上等により、2,948百万円の収入超過（前第2四半期連結累計期間は8,608百万円の収入超過）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産取得による支出2,694百万円、投資有価証券取得による支出786百万円等により、3,936百万円の支出超過（前第2四半期連結累計期間は3,885百万円の支出超過）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加6,194百万円等により、5,436百万円の収入超過（前第2四半期連結累計期間は7,190百万円の収入超過）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、円高の長期化による影響等先行きが不透明な状況であること、またタイで発生している洪水の影響につきましても不透明なことから、現時点では平成23年8月5日に公表した予想数値を据え置くことといたしますが、今後、業績の推移を見極めて、必要に応じて業績予想の見直しを行う予定であります。

当業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績は、様々な要因の変化により、記載されている予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

当第2四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間については潜在株式が存在しないため、これによる影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	70,449	71,024
受取手形及び売掛金	29,329	28,830
有価証券	305	303
商品及び製品	8,471	8,484
仕掛品	3,228	3,980
原材料及び貯蔵品	10,668	11,600
その他	7,301	8,529
貸倒引当金	△135	△128
流動資産合計	129,619	132,623
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,357	11,664
機械装置及び運搬具(純額)	6,957	7,349
工具、器具及び備品(純額)	2,734	2,801
土地	15,174	15,111
リース資産(純額)	708	703
建設仮勘定	1,095	1,336
有形固定資産合計	38,028	38,967
無形固定資産		
のれん	625	550
その他	1,225	1,218
無形固定資産合計	1,850	1,769
投資その他の資産		
投資有価証券	20,740	17,397
その他	1,339	2,375
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	22,062	19,754
固定資産合計	61,941	60,490
資産合計	191,561	193,114

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,902	21,976
短期借入金	55,609	61,828
未払法人税等	1,801	1,003
賞与引当金	1,989	1,983
役員賞与引当金	—	109
製品補償損失引当金	1,176	1,053
受注損失引当金	139	34
その他	9,743	9,880
流動負債合計	94,361	97,871
固定負債		
長期借入金	92	97
退職給付引当金	2,353	2,415
役員退職慰労引当金	392	156
資産除去債務	50	48
その他	2,124	2,239
固定負債合計	5,012	4,958
負債合計	99,374	102,829
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,494	14,494
資本剰余金	6,492	6,492
利益剰余金	75,258	75,348
自己株式	△6,267	△6,269
株主資本合計	89,977	90,065
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,116	1,221
為替換算調整勘定	△6,140	△6,420
その他の包括利益累計額合計	△3,024	△5,199
新株予約権	—	5
少数株主持分	5,234	5,412
純資産合計	92,187	90,284
負債純資産合計	191,561	193,114



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	81,606	81,242
売上原価	65,423	63,771
売上総利益	16,183	17,471
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	1,979	2,086
従業員給料	2,884	3,234
賞与引当金繰入額	310	405
役員賞与引当金繰入額	91	119
製品補償損失引当金繰入額	205	—
退職給付引当金繰入額	35	49
役員退職慰労引当金繰入額	33	41
その他	3,851	4,697
販売費及び一般管理費合計	9,392	10,633
営業利益	6,790	6,837
営業外収益		
受取利息	253	431
受取配当金	95	117
負ののれん償却額	22	—
その他	225	323
営業外収益合計	596	871
営業外費用		
支払利息	103	145
為替差損	4,934	5,681
その他	13	16
営業外費用合計	5,051	5,844
経常利益	2,335	1,865
特別利益		
固定資産売却益	10	6
貸倒引当金戻入額	4	—
負ののれん発生益	—	42
その他	0	9
特別利益合計	15	58
特別損失		
固定資産売却損	14	1
固定資産除却損	12	9
減損損失	—	205
投資有価証券評価損	244	34
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	8	—
特別損失合計	280	250
税金等調整前四半期純利益	2,070	1,672

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
法人税、住民税及び事業税	1,607	1,214
法人税等調整額	△103	△476
法人税等合計	1,504	738
少数株主損益調整前四半期純利益	566	934
少数株主利益	462	483
四半期純利益	103	451

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	566	934
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△601	△1,895
為替換算調整勘定	△1,312	△359
その他の包括利益合計	△1,914	△2,254
四半期包括利益	△1,347	△1,320
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,765	△1,723
少数株主に係る四半期包括利益	418	403

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,070	1,672
減価償却費	2,836	2,780
減損損失	—	205
のれん償却額	△22	70
負ののれん発生益	—	△42
株式報酬費用	—	5
賞与引当金の増減額(△は減少)	139	△86
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	91	97
退職給付引当金の増減額(△は減少)	31	54
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△70	△64
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4	△0
製品補償損失引当金の増減額(△は減少)	76	△128
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△1	△139
受取利息及び受取配当金	△348	△548
支払利息	103	145
為替差損益(△は益)	3,942	3,876
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△9
有形固定資産売却益	△10	△6
有形固定資産処分損	26	10
有価証券売却損益(△は益)	0	—
有価証券評価損益(△は益)	0	2
投資有価証券評価損益(△は益)	244	34
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	8	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,350	△325
たな卸資産の増減額(△は増加)	△927	△1,877
その他の資産の増減額(△は増加)	155	△802
仕入債務の増減額(△は減少)	1,726	△926
その他の負債の増減額(△は減少)	892	556
小計	9,609	4,554
利息及び配当金の受取額	351	550
利息の支払額	△105	△147
法人税等の支払額	△1,247	△2,008
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,608	2,948

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△39	△39
定期預金の払戻による収入	72	72
有形固定資産の取得による支出	△2,590	△2,694
有形固定資産の売却による収入	192	106
無形固定資産、投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△256	△302
投資有価証券の取得による支出	△1,048	△786
投資有価証券の売却による収入	—	9
貸付けによる支出	△946	△952
貸付金の回収による収入	731	650
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,885	△3,936
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	8,140	6,194
長期借入金の返済による支出	△56	△57
リース債務の返済による支出	△86	△97
自己株式の純増減額 (△は増加)	△256	△1
配当金の支払額	△401	△400
少数株主への配当金の支払額	△149	△201
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,190	5,436
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,111	△3,886
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	7,801	562
現金及び現金同等物の期首残高	45,553	70,381
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	46
現金及び現金同等物の四半期末残高	53,355	70,990

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	自動車及び 汎用計器 事業	民生機器 事業	ディスプレ イ事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	61,022	7,277	2,328	70,628	10,977	81,606	—	81,606
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	49	49	4,208	4,258	△4,258	—
計	61,022	7,277	2,378	70,678	15,186	85,865	△4,258	81,606
セグメント利益 又は損失(△)	6,261	15	△148	6,128	708	6,837	△46	6,790

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車販売、貨物運送、ソフトウェアの開発販売、受託計算、樹脂材料の加工・販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△46百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	自動車及び 汎用計器 事業	民生機器 事業	ディスプレ イ事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	59,853	6,219	1,737	67,810	13,432	81,242	—	81,242
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	63	63	4,613	4,677	△4,677	—
計	59,853	6,219	1,800	67,874	18,045	85,920	△4,677	81,242
セグメント利益 又は損失(△)	5,966	266	△224	6,008	720	6,729	108	6,837

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車販売、貨物運送、ソフトウェアの開発販売、受託計算、樹脂材料の加工・販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額108百万円は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

全社資産である賃貸用不動産について、収益性が低下したため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては205百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

「自動車及び汎用計器事業」セグメントにおいて、当社による連結子会社常州日精儀器有限公司の株式取得により、負ののれん発生益（特別利益）を計上しております。

なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては42百万円であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。